

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	日本語とコミュニケーションB		
英文授業科目名	Japanese Communication B		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	志賀 幹郎		
居室	P-211		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shiga@fedu.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
コミュニケーションのための言語として、日本語にはどのような特徴があり、どのような課題があるのか。 その現状について理解を深めるとともに、今後の展望を得る。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書は使わない 適宜、プリント等が配布される

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各学生が、コミュニケーションのための言語としての日本語について、それぞれ課題を設定する。授業では、それぞれ課題を探究した内容について順番に発表する。期末レポートは、探究の集大成となるものを提出する。

なお、「コミュニケーション」の意味は、社会で使用されている日本語という大きい意味で捉え、対人コミュニケーションに限らないこととする。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

課題の探究のための資料収集および考察、発表のための準備、期末レポート作成が必要。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

発表（内容と準備状態の評価）：30

応答（クラスメートの発表への参加）（観察and/or小課題による評価）：20

出席：20

期末レポート：30

【オフィスアワー：授業相談】

随時行っています。直接あるいはE-mailで連絡をとってください。

【学生へのメッセージ】

前年度までに、インターネット上の言語としての日本語、世界に広がるマンガの日本語、待遇表現（敬語など）についての他言語との比較、歌詞の日本語、英語教育の早期開始、俗語(slang)の使用について、などユニークで興味深い切り口が扱われました。これらを含め、それぞれ各自の興味を軸に課題設定をしてください。

【その他】

なし